

第1回幹事会報告

庶務幹事 坂井 信彦、菅 滋正

日時 : 平成6年4月28日 午前 9:00 ~ 10:30
場所 : 東京大学工学部6号館3階第2輪講室
出席者 : 菊田、下村、難波、村田、前田、松井、坂井、虎谷、菅、辻 ;
大野 (共同チーム)、鈴木 (財団)、稲垣 (事務局)、香川 (財団事務)
内容 :

1. 会長報告

今年度活動方針として以下の対応を行う: ①ビームライン関連問題への対応。②利用体制問題への対応。行政レベルで科技庁を中心に今年9月ごろを目処に利用体制がかたまるであろう。それぞれに対して利用者の要望を反映させる作業をおこなう。

2. 幹事報告

<庶務> ①新規加入申込者が56名。本日の運営委員会で承認手続きをする。②会員名簿の改訂を今年度行うこと。その作業を開始するので名簿の体裁等について意見を寄せてほしい。→検討の結果承認。

<会計> ①会費未納者が約10%いる (リスト回覧)。その対策を立てたい。→検討の結果; 1月~3月に行われる総会以後の入会者については、「光彩」最新号は送付するが当年度の会費徴収は行わないことに決定。②前年度の決算報告。初年度のため項目別予定予算からの過不足があった。今年度予算案は財団側の予算決定を待って確定する。③SG活動資金援助について; 旅費 (財団基準に準拠)、宿泊費 (一律12,000円)、日当 (SG代表者のみ; 会の雑費経費補填として3,000円/会)、なおコピー代は援助しない、郵送費 (270円×SG会員数×2) の算出基準を提案。→検討の結果、提案を承認。年間20万円/SGを基準とすることは従来どおり。④なお学会等に付随してSGの会合を開く時は懇親会としては経費を負担しない。⑤SG会合費として当会の活動として常識的な範囲での会場費は負担できる。なお郵送費、会場費と「高輝度光科学研究センター」宛の領収証を必要とする。

<編集> 「光彩」3号は3月に発送完了。「光彩」4号の発行は6月を予定。原稿の集まりが遅いこと、内容訂正作業が入ることで予定が遅れ気味なので、協力願いたい。

<行事> ①今年度総会は1月20日頃開催予定の放射光科学合同シンポジウム (仮称) に併せて企画したい。場所はつくば市が想定されている。②6月10日理研にて光源パラメータ講習会。その他レイトレース講習会やビームライン講習会を検討。

<利用> ①前年度の財団報告書として「材料科学及びライフサイエンス研究分野等におけるSPring-8の利用計画調査報告書」が完成した。各SGより提出されたビームライン計画趣意書が主体となった構成である。②今年度の活動として10内外のサブグループの活動報告書の作成を予定。

<その他> 本年7月29日頃 SPring-8現地で幹事会、運営委員会開催予定

第1回運営委員会報告

庶務幹事 坂井 信彦、菅 滋正

平成6年度第一回の運営委員会が開かれましたので報告します。なお、今年度運営委員一覧は、「光彩」No.3 P.6に記載されています。

日時：平成6年4月28日 午前 10:40 ~ 12:10

場所：東大工学部6号館3階第2輪講室

出席者：雨宮、石川、岩見、太田、尾嶋、菊田、坂井、下村、菅、大門、辻、虎谷、難波、前田、松井、水木、村田、渡辺、
オブザーバー：大野（共同チーム）、鈴木（高輝度財団）

議事：（議長：松井委員）

1. 幹事報告

(1) 会長

当懇談会として2年目に入り、概ね順調に推移している。今年度活動方針として、①建設モードに入ったSPring-8に対して積極的に協力する、②行政レベルで科技庁を中心に今年9月ごろを目処に利用運営体制が固まることが予想されるので、その肉付けに利用者の要望が反映されるように努める。

(2) 各幹事

<庶務>①新規加入申込者56名を報告。②会員名簿の改訂を今年度に行うこととするので、名簿の体裁等の意見を寄せてほしい。

<会計>①前年度決算報告。②会費未納者が約10%いるが、対策として1月～3月に行われる総会以後の入会者については当年度の会費徴収は行わないこととする。③今年度予算は財団側の予算決定（6月末）を待って確定するので次回運営委員会にて承認願いたい。④SG活動資金援助は本日の幹事会にて承認された下記の旅費、宿泊費、日当、印刷費、郵送費の算出基準に従って支給する。

※旅費（財団基準に準拠）、宿泊費（一律12,000円）、日当（SG代表者のみに、会の雑費経費補填として3,000円/会）、郵送費（270円×SG会員数×2）、但しコピー代は援助しない。常識的な範囲で会場費は支給できる。又、年間20万円/SGを基準とすること。学会等に付随してSG会合を開くときは経費を負担しないことは従来通りである。

<編集>「光彩」4号の発行は6月を予定している。ビームライン選定結果報告、本日（4月28日）のSG世話人会報告を掲載予定である。

<行事>①今年度総会は1月20日頃開催予定の放射光科学合同シンポジウム（仮称）に合わせて企画したい。場所はつくば市が想定されている。②6月10日理研にて光源パラメーター講習会を開催する。その他ビームライン講習会やレイトレース講習会を検討している。

<利用>①前年度の財団報告書として「材料科学及びライフサイエンス研究分野等におけるSPring-8の利用計画調査報告書」が完成した。②今年度の活動として10内外のサブグループの活動報告書の作成を予定している。

2. 新規会員の承認

庶務幹事より報告のあった56名の申込者を会員承認した。

3. SPring-8運営利用体制について

菊田会長より平成6年3月16日付けの「大型放射光施設(SPring-8)の効果的な利用・運営のあり方についての調査審議中間とりまとめ」(航空・電子等技術審議会、電子技術部会)の答申の中間報告書内容の説明があった。この部会ではSPring-8の管理運営が議論される。最終答申案は本年9月頃とりまとめられる予定である。今回の中間とりまとめで、平成10年以降のビームライン関連予算の枠組みが明確になった。高輝度光科学研究センターの性格付けもなされるので、当懇談会からの要望を提案してゆく。科技厅と文部省には大学関係者のSPring-8利用の円滑化に対する要望を引き続き行う。このような作業のため運営幹事(現在は塩谷幹事のみ)の1名増員を早急に行いたい。

4. 放射光関連合同シンポジウムについて

4施設3利用者団体ならびに放射光学会(合計8団体)の合同のシンポジウムを平成7年1月に開催する企画が進行していることの説明が菊田会長からあった。関連して渡辺運営委員(放射光学会行事委員兼務)より当懇談会の判断を求められ、当運営委員会としては開催に賛成であることを表明した。8団体同一レベルの共催か、あるいは放射光学会主催7団体共催かについて意見交換がなされた。

5. その他

- (1)顧問について;本年4月よりPF施設長、姫路工業大学理学部長が交代したことに伴い、それぞれの職務に新任された2名の方にも顧問を依頼することとした。
- (2)企業関連会員の勧誘について;本年秋に調査が開始される予定の特定利用ビームラインの調査に企業の情勢が反映されると思われるので、その時期に勧誘の具体策を検討することとした。
- (3)新しいサブグループの開拓策について意見交換があった。
- (4)大野共同チームサブリーダーより、30M長直線部ビームラインの利用案を共同チームに提案してほしいとの要請があった。